

子育て・親子支援

【事業一覧】

No	1	中央公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	実習	7月25日(金) 8月 5日(火)	夏休み・親子陶芸体験教室 (※)	実10483346 報10587022	
2	家庭教育学級	講義・ 実習	9月26日(金) 10月 3日(金) 10月10日(金) 10月17日(金)	ベビープログラム (B P)	実10472860 報10649729	
3	家庭教育学級	講義	12月21日(日)	クリスマスコンサート ～親子で音楽を楽しもう！	実10613735 報10703717	
4	家庭教育学級	講義・ 実習	2月 6日(金) 2月13日(金) 2月20日(金) 2月27日(金)	ベビープログラム (B P)	実10628946 報10759760	
5	子育て支援講座	講義・ 実習	11月 7日(金)	こどもの救命救急法	実10535527 報10667531	

【事業の概要】

No	1	中央公民館			経費	—		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	夏休み・親子陶芸体験教室							
ねらい	① 夏休みの就学児童たちが家庭で過ごす時間が多くなる時期に、児童と保護者がコミュニケーションをはかる機会とする ② 同年代の児童や保護者同士の交流をはかる ③ 陶芸を体験することにより、親子が共に楽しみ、学び、想像する喜びを知ってもらう機会とする							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月25日(金)		「夏休み・親子陶芸体験教室」① ～ねんどで形づくり～			—	350円	
	10:00	12:00				土の会・陶榮会		
	32	30						
2	8月5日(火)		「夏休み・親子陶芸体験教室」② ～釉薬(ゆうやく)塗り～			—	—	
	10:00	12:00				土の会・陶榮会		
	32	28						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	夏休み期間中に開催したため、親子での参加ができ、良い思い出づくりとなり、もの作りを通して創造する喜びを知る機会となったと考える。また、講師の方、保護者、小学生との三世代に渡る幅広い世代感交流となった
地域のニーズにこたえているか	○	上記に同じ
企画・事前準備は十分であったか	○	中央公民館で活動している陶芸グループ2団体に講師を依頼し、事前に2団体との打合せを行った。打合せでは、当日の講座運営、作品の窯入れ、窯出し（素焼き、本焼き）の当番等を決め、全体の流れの確認を行った
学習者の満足度はどうであったか	○	参加した子どもたちからは、「色を付けるのが楽しかった」との感想が多く寄せられ、保護者からも「とても楽しく親子で思い出ができた」との声が多く寄せられた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	中央公民館で活動している陶芸団体に方に協力いただき普段の学習成果を生かしていただいた。しかし、参加者が陶芸の団体に加入する等の還元には至らなかった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	H P、中央公民館報で周知を行った。募集人数16組に対し94組の応募があった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 38

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	釉薬等の薬品類は陶芸団体から無償で提供されたもので、講座自体もボランティアで講師を請け負ってくださっているなど、団体の負担が大きいのが、終了後には次年度も協力したいと言っていた。人気の講座なので毎年開催できればと思う。	
改善点		

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	人気の講座なので毎年開催できればと思う。	

留意事項等	
-------	--

	
ねんどで形作り	釉薬をぬっている様子

様式 1

【事業一覧】

No	上川淵公民館		事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	実習	6月28日(土)	親子じゃがいも収穫チャレンジ	実10516000 報10557149	
2	家庭教育学級	実習	7月 5日(土)	親子でパンづくり ポテトチーズパンを作ろう (※)	実10515657 報10565289	
3	家庭教育学級	講義・ 実習	8月20日(水) 8月27日(水) 9月 3日(水) 9月10日(水)	親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”ベビープログラム(愛称：BP) 下川淵・東公民館と合同開催 (主担当は下川淵公民館)	実10511538 報10618759	
4	家庭教育学級	実習	10月 4日(土)	親子さつまいも収穫チャレンジ	実10592413 報10638836	
5	家庭教育学級	実習	11月12日(水)	新年を寝相アート®で祝おう！	実10593285 報10670470	
6	子育て支援講座	実習	2月25日(水) 3月18日(水)	みんなで広げる絵本の和 ～読み聞かせボランティア講座	実10715483 報10782320	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館			経費	¥6,000		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	親子でパンづくり ポテトチーズパンを作ろう							
ねらい	① 保護者が安心して子どもを連れて学習ができる機会を提供する ② 調理実習を通し、食育について考える ③ 上川淵公民館利用団体の講師を起用することで、地域の学びの活性化につなげる							
対象	■ 乳幼児	■ 小学生	□ 中学生	□ 高校生	■ 保護者	□ 一般	□ 高齢者	
周知	■ 館報	□ HP	■ チラシ	□ その他 ()				
回	月 日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月5日(土)		親子パン作り教室 ・5歳以上のこどもと保護者を対象としたパン作り教室 ・上川淵地区地域づくり協議会食育部会が6月に収穫したじゃがいもを活用し、ポテトチーズパンを作成した。			6,000円	1組500円	
	10:00	12:00				エコ食楽部 代表 笛木 京子		
	10組20人	9組20人						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	親子の絆づくりと食育推進の機会が提供できた
地域のニーズにこたえているか	◎	親子の料理教室は人気が高く、アンケート結果でも継続開催の要望が多かった
企画・事前準備は十分であったか	◎	講師とのメニュー打ち合わせや経費算定、試作品づくりなど、事前準備を念入りに行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果では、満足度が96.5%で概ね満足していただけたと感じる
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	公民館利用団体を講師に起用し、学びの還元につながった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	申込受付からすぐに定員に達したので、公民館報等での周知が行き届いたと思われる

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	オープンを使う料理なので調理中の安全確保の観点から、5歳以上のこどもを対象とすることを講師との事前相談で決めた。こどもだけでできる作業も多く、同じグループになった親子同士で交流する余裕も生まれ、参加者の達成感と満足感につながったものと考えます。また、地域づくり協議会食育部会の育てたじゃがいもを活用したことで、地域づくりの活動内容も知ってもらえる機会となった。	
改善点	電話または窓口での先着受付による申込開始から15分で定員に達したこと、抽選や前回参加者以外を優先するなど、公平性を考慮した参加者選定の方法を検討したい。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	来年度は公民館大規模改修のため部屋利用ができない状況から、事業実施の可否や他の実施手段を模索している。	

留意事項等	
-------	--

	
講師が作り方を説明する様子	親子で試食する様子

【事業一覧】

No	3	下川淵公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	実習	7月24日(木)	ベビーマッサージ&ママエクササイズ	実10542797 報10584512	
2	家庭教育学級	講義・実習	8月20日(水) 8月27日(水) 9月 3日(水) 9月10日(水)	親子の絆づくりプログラム “赤ちゃんが来た!” ベビープログラム (愛称:BP)	実10511538 報10618759	
3	家庭教育学級	実習	8月28日(木)	夏の思い出フォトスポット&手作りアルバムづくり(※)	実10543033 報10608523	
4	家庭教育学級	実習	9月25日(木)	ベビーマッサージ&ママエクササイズ(9月)	実10590526 報10625676	
5	家庭教育学級	講義・実習	10月23日(木)	すこやか健康教室@下川淵地区子育てサロン	実10621930 報10798023	
6	家庭教育学級	実習	11月27日(木)	寝相アート@下川淵地区子育てサロン	実10620753 報10684196	
7	家庭教育学級	実習	12月18日(木)	下川淵地区子育てサロンクリスマス会	実10698935 報10800372	
8	家庭教育学級	実習	1月22日(木)	ベビーマッサージ&ママエクササイズ(1月)	実10698592 報10737453	
9	家庭教育学級	講義・実習	3月12日(木)	すこやか健康教室@下川淵地区子育てサロン (3月)	実10727182 報10797853	

【事業の概要】

No	3	下川淵公民館			経費	4,500円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	夏の思い出フォトスポット&手作りアルバムづくり							
ねらい	① 同年代のこどもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間づくりの場として交流する機会とする ② 地区子育てサロンの周知・利用者増加のきっかけとなることを目指す ③ 子育て中の保護者が、工作を楽しむ場を提供することで、日常の忙しさから解放されてリフレッシュする機会とする							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月28日(木)		工作を楽しんでリフレッシュする。 ・フォトスポットの前で写真撮影 ・手型もしくは足型取り ・手作りアルバムづくり			4,500円	—	
	10:00	11:30				秋山 泰子		
	12組	6組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	「アルバムを作ろうとしていたところだったので参考になった」との意見が複数あり、学習者の需要に応えられたと考えている
地域のニーズにこたえているか	◎	参加者のほとんどが下川淵地区の方だったので、地域の仲間づくりのきっかけになったと考えている
企画・事前準備は十分であったか	○	講師との打合わせは子育てサロンスタッフも交えて行い、参加者のニーズに応えられるよう意見を出し合っ企画できた
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートの満足度が98%であったことから、高い満足度を得られたと言える
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	今回は単発講座で、グループ化することはなかった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	事前にチラシを作成し館内や子育てサロンで周知した他、公民館報にも掲載したことで、地区内での周知は行えたと考えている

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	家庭では、こどもと1対1で過ごすことが多いであろう保護者が、子育てサロンスタッフの見守り支援を受けながら、アルバム制作に集中する環境を整えることが出来たことは非常に有意義だったと考える。こどもとの思い出を形に残したいという保護者のニーズにも今回の講座は合っていたと思われるので、今後家庭でアルバムづくりをする際にも、今回学んだ技法などを使って、保護者だけでなく、親子で取り組むなどして制作を楽しんでもらえたら嬉しい。	
改善点	講座の内容としては、とても満足度が高く、今後も同じ内容で開催したいと考えているが、材料費の徴収に難しさを感じた。講師が事前にアルバム作成キットを準備してくださる関係で、直前のキャンセルの場合は、どうしても材料費を徴収せざるを得ない。今回は、直前キャンセルが1組あったが、サロンスタッフの中にキットがほしいという人がいたので、代わりに買い取ってもらえたが、今後は事前支払い制にするなど、材料費の徴収方法について見直しを行いたいと考えている。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	参加者満足度が高く、「アルバム作りをしたい」というニーズがあることもアンケートからわかったため、今後も継続する意義があると考えている。参加者は、育休中の保護者が多く、毎年開催しても、参加者が入れ替わる事が想定されるため、継続することでより多くの市民にアルバム作りの機会を提供できると考えている。	

その留意事項等	
---------	--

	
講師による説明	制作中の様子

【事業一覧】

No	4	芳賀公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	講義・実習	5月14日(水) 5月21日(水) 5月28日(水) 6月 4日(水)	親子の絆づくりプログラム “赤ちゃんが来た！” ベビープログラム (B P)	実10357627 報10506729	
2	家庭教育学級	実習	6月23日(月)	おやこのじかん F O R キッズ おやこでリトミック	実10514956 報10546165	
3	家庭教育学級	実習	12月10日(水)	おやこのじかん (※) クリスマスのおはなし会 & クリスマス飾りを作ろう！	実10640932 報10693179	

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館			経費	¥5, 500		
事業名	子育て・親子支援					家庭教育学級		
講座名	「おやこのじかん」クリスマスのおはなし会&クリスマスかざりを作ろう							
ねらい	① 親子遊びなどのふれあいを通じ、豊かな親子関係を築く ② 子育ての不安やストレスを軽減し、よりよい親子関係を築くためのサポートとする ③ 小さいころからの絵本や紙芝居の読み聞かせの大切さに触れる							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☒ その他 （講師のSNS）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	12月10日（水）		クリスマスのおはなし会&クリスマスかざりを作ろう ・大型絵本や紙芝居、ペープサート、手遊び歌を通じて参加者の交流を行う。 ・コースターを利用したクリスマス飾りを親子で作る。				5, 500円	—
	10:00	11:30					たこのおはなしや 田子 智代 協力者 戸塚 智子	
	20	71						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	読み聞かせについて保育所と協力して事業が行えたことは良かった
地域のニーズにこたえているか	△	地域に乳幼児が少なく、保育所での見学イベントでも人が集まらないという実態がある
企画・事前準備は十分であったか	○	講師の活動する子ども図書館に何度か出向き、打合せを行い、事前準備から手伝った
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果、受講生の講座の満足度は98%だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	講座終了後子ども図書館を訪れたときに、数人の受講生が子ども図書館の読み聞かせイベントに参加していた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	市内児童館、子育て支援センター、子ども図書館、絵本店などチラシを持参し配布をお願いした

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	受講生がなかなか集まらず、保育所に相談したところ、保育士入所児童が参加したいとのことで、前半後半に分かれて各20名ずつ参加してもらった。講座開始直前に8組17人の応募があったことから、最終的には前半後半とも各44人の参加者となり、にぎやかなクリスマスの読み聞かせ会となった。受講生の子どもたちは月齢が低かったが、保育所のお兄さんやお姉さんと一緒に遊ぶ姿が見られ、講師のおかげで和やかで楽しい時間が過ごせた。クリスマスの舞台装置や、お話題材の小道具、簡単工作キットまで、すべて手作りで用意し、温かい雰囲気を作ってくれた講師には感謝したい。保育所からは、「子どもたちが楽しんで参加でき、先生方も参考になった」との感想をいただいた。	
改善点	開催時期が、冬のインフルエンザ等が流行りだした時期のこともあり、早い時期に参加者の特定ができず、その後チラシにQRコードを掲載し配付先を広げた。受講生の8割は、HPからの申込みであったことから、当初からQRコードは必需だと思った。また、保育所の先生方と相談する中で、地域に乳幼児が少ないことも聞いたので、今後は開催時期の見直しだけでなく、「ベビープログラム：BP」のようないくつかの館が共同で開催することや、地域の保育所や子育て支援センター等との連携を検討したい。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	参加しやすいような時期の設定や、保育所や子育て支援センターとの連携を検討。毎年子育て支援課が「ベビープログラム：BP」を主宰し、0歳児を対象に3館合同で事業を開催しているのであれば、その講座受講生を核として、プログラムの企画から検討してもらっても良いのではないか。受講生の要望を吸い上げられるし、参加者も集めやすくなると思う。	

その留意点等	
--------	--

前半・「読み聞かせ会」ペープサートの後の手遊び歌	クリスマスかざりを作ろう 受講生だけの参加

【事業一覧】

No	5	桂萱公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	講義・実習	9月 4日(木) 9月11日(木) 9月18日(木) 9月25日(木)	わいわい子育てセミナー ベビーA	実10541058 報10632989	
2	家庭教育学級	講義	9月21日(日)	プロが教える寝かしつけのコツ	実10555287 報10623136	
3	家庭教育学級	講義・実習	10月 9日(木) 10月15日(水) 10月23日(木) 10月30日(木)	わいわい子育てセミナー ベビーB (※)	実10580951 報10665246	
4	家庭教育学級	講義・実習	10月19日(日)	わいわい子育てセミナー ベビー番外編	実10596022 報10661527	
5	家庭教育学級	講義・実習	11月 6日(木) 11月12日(水) 11月17日(月) 11月27日(木)	わいわい子育てセミナー キッズ	実10609337 報10681415	
6	家庭教育学級	講義・実習	12月14日(日)	わいわい子育てセミナー キッズ番外編	実10641013 報10696815	
7	家庭教育学級	講義・実習	12月20日(土)	わいわい子育てセミナー 総集編	実10641038 報10696867	
8	子育て支援講座	講義	9月 3日(水)	子育て支援講座～地域でこどもを育てる～	実10554681 報10616650	

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館	経費	25,000円					
事業名	子育て・親子支援		講座区分	家庭教育学級					
講座名	わいわい子育てセミナー ベビーB								
ねらい	① 子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする ② 子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る ③ 地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする								
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者		
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他 (インスタグラム)					
回	月日		学習主題・内容	講師謝礼金額		実費負担金額			
	開始	終了		講師名					
	定員	参加者							
1	10月9日(木)		はじめまして／親子あそび ・お子さんを抱っこしながら自己紹介 ・手遊びやふれあい遊び、手作りおもちゃの紹介、パネルシアター	—	—				
	10:00	11:00		こども支援課 中隣副主幹 山崎専門員					
	15組	15組							
2	10月15日(水)		陶芸(託児付き) ・粘土で1人2つまでの作品を成形 ※託児謝礼 8,000円	11,000円	800円				
	10:00	11:00		桂萱学習グループ 楽陶クラブ代表 大橋 佑美子 他会員7名					
	15組	13組							
3	10月23日(木)		ピラティス&バランスボール ・お子さんを抱っこしながら行えるポーズが中心 ・バランスボールもお子さんを抱っこしながら行う	3,000円	—				
	10:00	11:00		上州mamato 峰岸 圭衣					
	15組	14組							
4	10月30日(木)		ハロウィンパーティー ・パラバルーンを使った遊びや楽器を使った音楽あそび ・絵本の読み聞かせ	3,000円	—				
	10:00	11:00		Music Together 永澤 恭子					
	15組	15組							

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	家族形態の変化や地域との繋がり希薄化により孤立しがちな母親が、同年代の子を持つ母親同士で交流する良い機会となった
地域のニーズにこたえているか	○	地域の親子の仲間づくりの場となった
企画・事前準備は十分であったか	◎	運営委員会で意見を収集して企画・準備を行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートの結果、平均満足度は95%だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	事後アンケートの結果、本講座で出会った人と講座終了後も交流が続いているとの回答が複数あり、地域のコミュニティづくりに繋がった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	事前準備として、チラシの配布や館報への掲載を行い、広報活動を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

45

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B	募集により集まった2名の運営委員が意見を出し合い、講座内容を決定した。本講座は月4回の連続講座として実施し、参加者の集まりやすいベビー（0歳～1歳半）は9月・10月に、キッズ（1歳半～3歳）は11月に開催した。ハロウィンの講座では、運営委員から「部屋を飾り付けたい」と申し出があり、参加者を募って飾りを作成するなど、積極的な活動が見られた。参加者同士も回を追うごとに関係が深まり、事後アンケートでは「講座終了後も交流が続いている」との回答が複数あり、地域における仲間づくりの一助となっていると感じた。
改善点		「土日に父親や兄弟が参加できる講座を開催してほしい」という意見から土日の講座を4回行ったが、参加者があまり集まらなかった。土日の講座はニーズがある一方、家族と過ごしたいという方もいるため、連続講座の中では行わず、単発講座で行うべきだと思った。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	子育て世代の親たちの学びの場やリフレッシュの機会になっていることや、地域住民・団体との連携や交流を通して、子育て世代が地域に参加する機会となっているため、来年度も継続する意義は非常に大きい。

その留意事項等	
---------	--



陶芸の様子



ハロウィンパーティーの様子

様式 1

【事業一覧】

No	6	東公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	講義・実習	6月 2日(月) 6月11日(水) 6月18日(水)	すくすく親子スクール（前期）	実10473791 報10545702	
2	家庭教育学級	講義・実習	10月 2日(木) 10月15日(水) 10月29日(水)	すくすく親子スクール（中期）（※）	実10557030 報10659827	
3	家庭教育学級	講義・実習	12月 8日(月) 12月17日(水) 12月26日(金)	すくすく親子スクール（後期）	実10633796 報10710908	
4	家庭教育学級	講義・実習	8月20日(水) 8月27日(水) 9月 3日(水) 9月10日(水)	親子絆づくりプログラム”赤ちゃんが来た！”（ベビープログラム 略称BP）	実10511538 報10618759	
5	家庭教育学級	講義・実習	9月 7日(日)	あずま子育て、親子支援講座（パパ・ママ講座）	実10537366 報10613239	
6	子育て支援講座	講義・実習	8月27日(水) 9月 3日(水)	東公民館子育てボランティア講座	実10536503 報10611733	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	6	東公民館			経費	9,000円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	すくすく親子スクール（中期）							
ねらい	① 幼児安全法を学ぶことで、万が一の時に必要な知識を習得し、安心して育児が行えるようにする							
	② 参加者同士が交流し、保護者自身が集中できる時間を作りリフレッシュする機会を設ける							
	③ 親子でふれあうことにより、親子の絆を深め、親子の思い出作りをする							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	10月2日(木)		乳幼児の一次救命処置			—	—	
	10:00	11:00				日本赤十字社群馬県支部 関口 紀博		
	40	29						
2	10月15日(水)		多肉植物・サボテンを育てよう！ ～ちょっと息抜きしませんか～			3,000円	1,000円	
	10:00	11:00				hanana_ta29主宰 原島 春菜		
	40	21						
3	10月29日(水)		ふれあい遊びと手形足形アート			6,000円	300円	
	10:00	12:00				Petapeta-art認定講師 坂本 ゆきえ		
	40	28						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	少子化、幼稚園の低年齢化する中で、公民館で子育てについて集い学習することができた
地域のニーズにこたえているか	○	保護者（地元住民）の意見も取り入れた講座ができた
企画・事前準備は十分であったか	◎	講師との打合せや、周知、募集滞りなくできた
学習者の満足度はどうであったか	◎	3回連続講座で託児もありとても好評であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	アンケートより知人に知らせたいとあった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	募集人数に満たなかったが追加募集で募集人数の8割は確保できた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	定員20組募集をしたが、人集めに苦慮した。近隣の公民館や児童館にチラシを置いてもらい16組参加となった。 3回連続講座で、保護者同士も顔見知りとなり情報交換する姿が見受けられた。託児を用いて、お母さんがリフレッシュする講座は、初めてだったがとても楽しかったしリフレッシュできたと感謝された。親子で作成する手形足形アートもお子さんの記念になる作品ができたことと喜ばれた。	
改善点	参加募集するにあたり、周知方法やタイミングを考えたい。保護者からの意見も取り入れた興味を引く、参加したいと思える講座を用意したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	アンケート結果の満足度も96.4%あり高評価な講座であった。託児付きで保護者がリフレッシュする講座は、保護者同士の交流も含め参加者のニーズを充足するものだった。3回講座で、育児するうえでの学習、リフレッシュ、思い出作りの三部構成の講座は参加者にとっても喜ばれる講座である。	

留意事項等	
-------	--

	
10月2日乳幼児の一次救命処置（実技）	10月29日ふれあい遊びと手形足型アート（実技）

【事業一覧】

No	7	元総社公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	実習	10月31日(金) 11月20日(木)	元総社すこやか学級 (※)	実10596067 報10691179	
2	家庭教育学級	講義・実習	6月27日(金) 7月 4日(金) 7月11日(金) 7月18日(金)	親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた！」(ベビープログラム：略称BP)	実10466004 報10564495	
3	家庭教育学級	実習	2月21日(土) 3月 7日(土) 3月21日(土)	元総社親子陶芸・料理教室	実10733374 報10792482	

【事業の概要】

No	7	元総社公民館			経費	6,000円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	元総社すこやか学級							
ねらい	① 同年齢の子どもをもつ親同士の交流や講師・自主学習グループ会員との交流を通して、 (1)子育てに対する不安や孤独感を和らげる (2)リフレッシュする (3)それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する ② 公民館で活動する自主学習グループ（親子サークル）と連携することにより、自主グループの地域活動へ協力の意識を高めるとともに受講者の今後の公民館利用につなげる。家庭ではなかなかできない屋外での収穫体験を通し、地域に親しみをもち自然に感謝する							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	10月31日(金)		「子育てサークル s g」のみなさんと親子ヨガ！ ・子育てサークル s g 会員と一緒に親子ヨガとフィットネスを楽しんだ後、 s g の活動内容の紹介と交流タイム			6,000円	—	
	10:00	12:00				ヨガ・フィットネス講師 桑原 一美 (子育てサークル s g)		
	10組	3組						
2	11月20日(木)		「ひよこクラブ」におじゃまして、一緒に運動会！ ・「ひよこクラブ」の運動会に会員と一緒に参加させてもらった後、ひよこクラブの活動内容の紹介			—	300円	
	10:00	12:00				(ひよこクラブ)		
	10組	3組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	親子サークルの紹介を目的とした本講座は子育て中の親の孤立化の解消につながると思う
地域のニーズにこたえているか	○	地区内に人口の増えている地域もあり、子育て中の家庭も増えていると思われる
企画・事前準備は十分であったか	○	窓口用務等の合間に企画準備等を行っているため、十分だったとは言えない
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートでもとても満足度が高かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	公民館で活動している自主学習グループに協力をお願いした
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	思ったより、参加者が伸びず、別の周知活動の必要性も感じた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	第1回は、参加者と会員と一緒に体を動かした後、グループの活動内容の紹介、自己紹介、交流タイムという内容だったが、普段の活動内容が、交流に重点をおいているという話であり、普段の活動内容に近い状態が体験できたのではないかと思います。また、第2回の運動会についても会員と参加者が一緒に楽しむことができ、こちらのグループについては、定期的にイベントを実施しているということで、こちらも普段に近い内容を体験できたのではないかと思います。	
改善点	思ったより、参加者が少なく、申込みが4組、当日体調不良がそれぞれ1組で参加が3組ずつとなってしまった。他にも周知する手段を考えたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	今回の講座に関わらず、子育て中の親同士の交流や学びの場は必要だと考える。来年度は今年度以上に講座を企画していきたい。	

留意事項等	
-------	--

	
『「子育てサークルs g」のみなさんと親子ヨガ!』の様子	『「ひよこクラブ」におじゃまして、一緒に運動会!』の様子

【事業一覧】

No	8	総社公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	子育て支援講座	講義・実習	9月10日(水) 11月12日(水)	子育て応援を体験しよう (子育て支援講座)	実10561369 報10682796	
2	家庭教育学級	講義・実習	4月26日(土) 6月28日(土) 7月26日(土) 8月23日(土) 9月27日(土) 11月22日(土) 1月24日(土) 2月28日(土) 3月28日(土)	おはなし会支援	実10478366 報10761692	
3	家庭教育学級	講義・実習	6月27日(金) 7月 4日(金) 7月11日(金) 7月18日(金)	親子の絆づくりプログラム 「赤ちゃんがきた！」 (ベビープログラム：略称BP)	実10466004 報10564495	
4	家庭教育学級	講義・実習	11月 6日(木) 11月13日(木) 11月20日(木) 12月 2日(火) 12月11日(木)	すくすく教室全5回(※)	実10621667 報10691084	
5	家庭教育学級	講義・実習	11月25日(火)	すくすく教室(お楽しみ料理編)	実10621667 報10691084	
6	家庭教育学級	講義・実習	12月13日(土)	すくすく教室(クリスマスおはなし会)	実10639138 報10698128	

【事業の概要】

No	8	総社公民館		経費	10,000円（別途：託児謝礼5,000円×2回）			
事業名	子育て・親子支援			講座区分	子育て・親子支援事業			
講座名	すくすく教室							
ねらい	① 子どもの発達段階に応じた遊びや子育ての方法を学ぶことにより、子育てについての認識及び親子の絆を深める ② 親同士の交流を通し、安心して子育てができる環境の充実を図る ③ 保育園等各関係機関との連携を図る							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容		講師謝礼金		実費負担金額	
	開始	終了			講師名			
	定員	参加者						
1	11月6日(木)		子育ての楽しみ方 ～楽しく話して「ママ友になろう」～		—	—	前橋市幼児教育センター 幼児教育アドバイザー 塩崎 政江	
	10:30	11:30						
	10組	7組(8名)						
2	11月13日(木)		お子さんとのハンドコミュニケーションに繋がるほっこりとしたマッサージ～癒やされる暖かい手に～ 同時に子育てサロン開催		4,000円 (ハンド講師)	300円	Blue rose代表 清水 良美 総社地区民生委員・児童委員	
	10:30	11:30						
	10組	6組						
3	11月20日(木)		きらきら笑顔で親子遊び		—	—	前橋市こども支援課職員	
	10:30	11:30						
	10組	8組						
4	12月2日(火)		クリスマスおはなし会 クリスマスのおもちゃ作り		6,000円 (3,000円×2)	—	市読み聞かせグループ連絡協議会 顧問 田子 智代 副会長 牧 裕美子	
	10:30	11:30						
	10組	5組						
5	12月11日(木)		【おたのしみイベント】 保育園へいってみよう！ ～親子・園児みんなで保育園クリスマス会～		—	—	総社保育園保育士	
	10:00	11:00						
	10組	6組(7名)						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	子育て中の方に対しての講座ができ、現代的な課題に沿って検討できていたと思う
地域のニーズにこたえているか	○	地域の方・子育てのスペシャリストが講師となり、講座ができたため
企画・事前準備は十分であったか	○	各講座の講師と細やかな打ち合わせを行ったことにより、問題なく実施することができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	託児付きで、お母さんがほっとできる講座ができたと思われる
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	お友達になってグループ化するのはいかがか、と提案したが、全員がグループになることは難しかった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	生涯学習課のInstagram、近隣の保育園などに周知いただき、参加者が増えた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	全5回の連続講座としたが、お母さん同士が仲良くなり、講師の方と参加者で円滑に交流ができていたように思う。子育てで疲れている、と言っていた参加者もいたが、お母さんの気持ちがほっこりするハンドマッサージを組んでみたところ、悩みを講師に打ち明けてスッキリできた、との感想もいただいた。地元地区の団体の協力や、総社保育園のご協力をいただき、満足度が高い講座を開催することができたと思う。	
改善点	冬の時期であり、風邪等が流行する時期だったため、急な体調不良による欠席が多かった。講師や託児をお願いする団体など、事前に予定調整が必要となってしまうが、可能であればお願いする時期を検討したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	子育て中のお母さん同士が交流し、繋がる居場所づくりとして、今後も講座を開催したい。新しい項目を取り入れながら、リフレッシュができるような講座を検討していきたい。	

留意事項等	
-------	--

	
ハンドマッサージでリフレッシュ会	たこさんまきさんのおはなし会

様式 1

【事業一覧】

No	9	南橋公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	講義・実習	5月14日(水) 5月21日(水) 5月28日(水) 6月 4日(水)	親子の絆づくりプログラム(※) “赤ちゃんが来た!” (ベビープログラム通称BP)	実10357627 報10506729	
2	家庭教育学級	講義・実習	7月 3日(木) 7月10日(木) 7月16日(水) 7月23日(水) 7月30日(水)	南橋すくすく教室 (Baby編)	実10493910 報10568779	
3	家庭教育学級	講義・実習	11月14日(金) 11月21日(金) 11月28日(金) 12月 5日(金)	南橋すくすく教室	実10608492 報10684835	
4	子育て支援講座	講義	1月 7日(水)	知っていますか? ヤングケアラー	実10662309 報10714201	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	9	南橋公民館			経費	—		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	親子の絆プログラム''赤ちゃんがきた!''（愛称：BPプログラム）							
ねらい	① 初めて子育てをする母親を対象に開催し交流・情報交換の場とする ② 育児に対する不安を軽減する ③ 乳幼児の育児について必要な知識を学ぶ							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他（				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	5月14日(水)		新しい出会い			—	—	
	10:00	12:00				前橋市子育て支援課 BPファシリテーター		
	12組	10組						
2	5月21日(水)		赤ちゃんという生活と環境			—	—	
	10:00	12:00				前橋市子育て支援課 BPファシリテーター		
	12組	10組						
3	5月28日(水)		赤ちゃんの遊びと心の発達			—	—	
	10:00	12:00				前橋市子育て支援課 BPファシリテーター		
	12組	10組						
4	6月4日(水)		親になること			—	—	
	10:00	12:00				前橋市子育て支援課 BPファシリテーター		
	12組	10組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	地域におけるつながりを促進し、安心して子育てできる環境づくりに貢献している
地域のニーズにこたえているか	◎	当地区は子育て世代の方が多く暮らしているため、子育て講座や支援事業には確かな需要がある
企画・事前準備は十分であったか	○	BPファシリテーターと調整を行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートの結果、アンケート満足度は100%だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	その後の主催事業にも多数の継続的な参加者が集まり、地域内で子育て世代を中心としたコミュニティが形成された
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	事前準備として、チラシの配布や館報への掲載を行い、広報活動を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める	平均点	48
---	-----	----

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B	BP講座は、子育て世代の孤立防止や親子の交流促進において非常に有意義な取り組みであり、今後も継続して実施することが望まれます。講座の内容や効果は高く評価されており、地域にとって重要な役割を果たしています。
改善点		BP講座の運営主体は、内容面における専門性を担保するためBPファシリテーター（こども支援課所属職員）が中心となって実施しています。一方で、会場設営や受講者対応などの環境整備は公民館が担い、現行の役割分担は適切に機能していると認識しています。講座の質をさらに高めるためには、主催者であるファシリテーターと公民館との連携を一層強化することが有効であると考えます。BPファシリテーターは専門性が高く講座内容や進行に関する知見を有していることから、その強みを最大限に発揮いただくためにも、講座の事前調整や当日の流れ、参加者支援のポイント等について、公民館との情報共有をより緊密に行うことで、双方の役割が一層明確となり、より質の高い講座運営につながるものと見込まれます。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	講座運営においては、公民館とBPファシリテーターがそれぞれの強みを生かし、参加者の満足度向上と質の高い講座づくりに取り組んできました。今後は、これまで以上にBPファシリテーターと緊密に連携し、専門性を踏まえたより充実した講座提供に向けて協力していきたいと考えております。

その留意点等	
--------	--

	
この1週間の出来事を各自発表	育児について気になっている事を書き出す

【事業一覧】

No	10	清里公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	講義・実習	6月27日(金) ～ 7月18日(金) (全4回)	親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た”(ベビープログラム:略称BP)(※)	実10466004 報10564495	
2	子育て支援講座	講義・実習	9月19日(金)	健康貯金をしよう	実10505250 報10622998	
3	子育て支援講座	講義・実習	10月13日(日)	初めてのピラティス教室	実10509628 報10640473	

【事業の概要】

No	10	清里公民館			経費	—		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	子育て支援講座		
講座名	親子の絆づくりプログラム：“赤ちゃんが来た！”（愛称BPプログラム）							
ねらい	① 初めての子育てをする母親が、子育てに関する知識・技術について学習する ② 同じ月齢期の乳児を持つ母親同士が情報を共有し、交流することで子育ての不安を軽減し、お互いの子育てについて学び合う心を養う							
対象	■ 乳幼児	□ 小学生	□ 中学生	□ 高校生	■ 保護者	□ 一般	□ 高齢者	
周知	■ 館報	□ HP	■ チラシ	□ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	6月27日(金)		新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ			—	—	
	10:00	12:00				前橋市子育て支援課 BPファシリテーター		
	24	16						
2	7月4日(金)		赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			—	—	
	10:00	12:00				前橋市子育て支援課 BPファシリテーター		
	24	16						
3	7月11日(金)		赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			—	—	
	10:00	12:00				前橋市子育て支援課 BPファシリテーター		
	24	18						
4	7月18日(金)		親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			—	—	
	10:00	12:00				前橋市子育て支援課 BPファシリテーター		
	24	16						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	初めての子育てを母親に、不安解消のために知識・技術を提供するプログラムが実施できた
地域のニーズにこたえているか	◎	毎年、各館で行っている親子の絆づくりのためのプログラムである
企画・事前準備は十分であったか	○	前年度の段階からこども支援課、生涯学習課、共催館と何度も協議を重ねた
学習者の満足度はどうであったか	◎	全体としての満足度が8割超だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	受講者同士で、清里公民館を拠点に学習グループを立ち上げた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	市内各館にチラシの配布を依頼したが、定員12組のところ、9組と少し少なめだった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	毎回受講するお母さん方は真剣に講義を聞いており、なおかつ2人1組になっての活動など物怖じすることなく取り組めていたため、赤ちゃんもリラックスして参加できていた。5ヶ月未満の赤ちゃんなので、急な体調変化やご機嫌具合など、継続的な学習時間を確保する難しさも感じた。	
改善点	講座運営中のグループ分けなど事前にきいておけば、円滑な運営に協力できるのではないかな。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	初めての子育てをする母親に対しての、継続的支援は今後も必要かと思います。	

留意事項等 その他	生まれ月によっては、他館の同プログラムでも参加できる場合があるので、電話での問い合わせなどの際、留意したい。
--------------	--



グループ討議



交流タイム

【事業一覧】

No	11	永明公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	講義・実習	7月21日(月)	『キーワードは「浮いてまで！」夏休み親子水難事故予防教室』(※)	実10514584 報10573180	
2	家庭教育学級	実習	7月22日(火) 7月24日(木) 8月1日(金) 8月8日(金)	「夏休み子育て親子講座@永明公民館」	実10546397 報10591503	
3	家庭教育学級	実習	9月27日(土)	「災害時も役立つ！親子で楽しむ簡単アウトドア料理」	実10589955 報10641229	
4	家庭教育学級	実習	9月3日(水) 9月17日(水) 10月1日(水) 10月15日(水)	「たまにはママもリフレッシュ！託児室付きリピラティス&リラックスヨガ教室」	(9月) 実10573700 報10628079 (10月) 報10651518	
5	家庭教育学級	実習	11月5日(水) 11月12日(水) 11月19日(水) 11月26日(水)	「ベビープログラム“赤ちゃんがきた！”」	実10602007 報 —	
6	家庭教育学級	実習	3月22日(日)	「あつまれ！ベジキャンファクトリー！」	実10748258 報10783430	

【事業の概要】

No	11	永明公民館			経費	消耗品費 4,400円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	『キーワードは「浮いてまで！」夏休み親子水難事故予防教室』							
ねらい	① 夏休みを迎えるにあたり、水難事故に会わないための注意点や、もしもの時の対処方法を親子で学び、体験する ② 安全に楽しい夏休みを過ごしてもらうため、夏休み開始直後の休日に開催し保護者も参加しやすい機会を作る							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐる）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月21日(月)		講義：水辺の危険箇所の確認。人はなぜ溺れたときに沈んでしまうのか。泳げなくても浮いていられる方法、ライフジャケットとは？正しい着用の仕方 実技：ライフジャケットを着用した入水体験、ライフジャケットがないときの浮き方の実践			前橋市消防局 水難事故予防自主研究グループ 大手 貴史 他2名		
	10:00	12:15						
	40	37						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	夏休み期間中に全国的に頻発する水難事故について
地域のニーズにこたえているか	○	地域ニーズの把握に努めた
企画・事前準備は十分であったか	○	永明小学校の協力のもと、小学校のプールを使用する事ができ、より実践的な実習を行うことができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果からも参加者の満足度は非常に高かったと感じる
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	継続して取り組むことで価値が高まる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館報とポスター掲示に加え、すぐるを使用したことで効率よく周知活動が行えたと考える

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	本講座は、夏休み最初の土曜日という、子どもたちが水辺で活動する機会が増える時期に実施でき、適切なタイミングでの開催となった。また、永明小学校の協力により、閉場後のプールを使用させていただいたことで、安全かつ落ち着いた環境で実技指導を行うことができた。特に、着衣のまま入水する体験は、実際の事故を想定した学びにつながり、参加者の理解促進に大変効果的であった。さらに、保護者も一緒に参加できたことで、家庭における水辺の安全意識向上につながり、親子で学ぶ機会としても有意義であったと感じている。	
改善点	対象年齢の拡大への対応 未就学児・中高生向けに内容を分け、説明方法・実技レベルを調整する。 安全管理体制の強化 年齢層に応じて監視員を増員し、未就学児は保護者同伴とする。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	永明小学校では夏休み前に水難事故防止授業を行っており、本講座にも協力的で、閉場後プールの使用が可能となった。全国的に水難事故が多発している状況を踏まえると、夏季前に本講座を実施する意義は大きい。また、講師は前橋市消防の水難事故防止研究グループに所属しており、専門的な指導が行える点も強みである。公民館としても地域の安全教育に資する事業として、来年度も継続して取り組む価値がある。	

その留意 他事項	
-------------	--

	
講義の様子	入水体験実習の様子

【事業一覧】

No	12	城南公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	実習	11月20日(木) 11月28日(金) 12月 5日(金)	城南おやこひろば (※)	実10607663 報10685406	
2	子育て支援講座	講義	2月27日(金)	怒り・イライラに振り回されない子育て ～アンガーマネジメントを学ぼう～	実10684086 報10759359	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	12	城南公民館			経費	23,500円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	城南おやこひろば							
ねらい	① 親子のふれあいと心豊かな体験を支援し、円滑な親子関係を築く。 ② 子育ての悩みを共有し、親同士の情報交換や仲間づくりを助ける。 ③ 保護者のリフレッシュの機会を作る。							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☒ その他 （ インスタグラム ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	11月20日（木）		親子ふれあいあそび&ベビーマッサージ ・親子でふれあい、リラックスした時間を過ごしてもらう。			4,500円	—	
	10:00	11:30				maman touch 大矢 宏美		
	10組	7組						
2	11月28日（金）		クリスマス手形足型アート ・赤ちゃんのかわいい手形・足形アートを作成し、子育ての記念にしてもらう。 ※託児謝礼（城南ボランティアの会）5,000円			4,500円	500円	
	10:00	11:30				maman touch 大矢 宏美		
	10組	5組						
3	12月5日（金）		クレイケーキづくり ・ベビーグッズの工作をし、親の気分転換を図る。 ※託児謝礼（城南地区保健推進委員会）5,000円			4,500円	800円	
	10:00	11:30				maman touch 大矢 宏美		
	10組	5組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	親子での触れ合いや保護者がリフレッシュする機会を提供できた
地域のニーズにこたえているか	△	当初は地区内で募集をかけたが申込みが少なく、連続講座がニーズにあっていないと感じた
企画・事前準備は十分であったか	○	講師提案の流行のテーマで企画ができ、参加者からも好評であった
学習者の満足度はどうであったか	○	楽しめたとの声があった一方、参加者同士の交流があまりできず残念との声もあった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	参加者による地域還元には繋がらなかったが、託児ボランティアから赤ちゃんと触れ合えてよかったとの声があった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	公民館報、地区内回覧、HP、インスタグラム、各所へのチラシ設置で募集をかけたが申込みが少なかった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

35

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	親子同士の交流や保護者のリフレッシュをねらいとして昨年同様3回連続講座で企画し、講師も昨年度と同じ、各種ワークショップ等を行っている方に依頼した。クレイケーキなどの個人ではなかなか取り組めないテーマを提案していただき、参加者にも好評であった。託児があることで安心して活動を楽しめたとの声をもらえた。	
改善点	定員10組で募集をかけたが集まりが悪く、申込みした方の友人に声をかけてもらうなどして9組が集まったが、体調不良等でお休みも多く、全員が揃うことはなかった。また、連続講座にすることで親子同士の交流をねらいとしていたが単発で講座に参加したいという参加者もいるなど、連続講座は参加のハードルが高いようだった。多種多様なイベントがある中で、公民館事業を選んでもらうことの難しさを感じた。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	参加申込みが少なく単発講座を希望する声もあったことから、保護者のリフレッシュを兼ねた工作系の講座は単発講座、親子同士の情報交換・交流を目的とするものは長期に渡る連続講座にするなど、企画の見直しが必要と感じた。	

留意事項等	
-------	--

	
11/20親子ふれあいあそび&ベビーマッサージ	11/28クリスマス手形足形アート

【事業一覧】

No	13	大胡公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	講義・実習	7月11日(金) 7月18日(金)	ママたちのひろば 赤ちゃん体幹運動 手形・足形アート	実10503688 報10569358	
2	家庭教育学級	実習	8月 5日(火)	ママたちのひろば 親子で一緒にリトミック	実10504967 報10585745	
3	家庭教育学級	講義・実習	8月19日(火)	ママたちのひろば たこさんと遊ぼう！ 絵本の読み聞かせ・タオル人形づくり(※)	実10504967 報10596356	
4	家庭教育学級	実習	8月26日(火)	ママたちのひろば 親子ピラティス	実10504967 報10606656	
5	家庭教育学級	実習	9月 2日(火)	ママたちのひろば バランスボールエクササイズ	実10504967 報10606656	
6	家庭教育学級	講義・実習	12月 3日(水) 12月10日(水) 12月17日(水) 12月24日(水)	親子の絆づくりプログラム “赤ちゃんが来た” 大胡、宮城、粕川3館合同開催	実10608467 報10703797	
7	子育て支援講座	講義	1月13日(火)	地域で子育てを応援しよう ～保健推進員さんに期待されること～	実10640200 報10719028	

【事業の概要】

No	13	大胡公民館			経費	4,500円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	ママたちのひろば たこさんと遊ぼう！絵本の読み聞かせ&タオル人形づくり							
ねらい	① 親子と一緒に楽しむ時間を共有する ② 参加者同士の交流を深め、子育ての不安解消とリフレッシュの機会を設ける							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他 （ インスタグラム・全庁掲示板 ）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	8月19日(火)		たこさんと遊ぼう！ 絵本の読み聞かせ&タオル人形づくり				4,500円	—
	10:00	11:30					田代 智代	
	8組	4組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	子育て中の母親の孤独を解消し、リフレッシュの機会を提供できた
地域のニーズにこたえているか	○	地域を超えて親子の交流を図ることができた
企画・事前準備は十分であったか	○	概ね十分であった
学習者の満足度はどうであったか	◎	事後アンケート結果からも高い満足度となった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	本に親しむ楽しさと本を読むことの大切さを波及できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	全庁掲示板やInstagramを活用し周知活動を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	夏休み中の開催ということもあって、兄弟姉妹で参加してくれたので何とか講座を開催することができた。講師の声の抑揚や表現の豊かさに、子どもたちは絵本の世界にぐんぐん引き込まれていった。親子でゆっくり本に親しむ時間を提供できたと思う。絵本の読み聞かせのほか、簡単な手遊びやタオル人形づくりなど充実した講座となった。	
改善点	講座を企画し開催しても、なかなか参加者が集まらない現状にストレスを感じる。公民館だけの講座開催が難しいので、今後は地域の子育て支援センターなどと連携して講座開催ができないかを模索中。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	少子化、各家族化など社会との関わりが希薄しているなかで、公民館を拠点とし、子育て中の親同士の交流の場と、不安解消とリフレッシュの機会を提供する。	

その留意 事項等	
-------------	--

	
親子で本を読む時間	タオル人形づくり

様式 1

【事業一覧】

No	14	宮城公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	実習	8月 5日(火)	親子リトミック	実10526268 報10584569	
2	家庭教育学級	講義	9月29日(火)	親子ぐっすり睡眠講座	実10561351 報10630194	
3	家庭教育学級	講義・ 実習	12月 3日(水) 12月10日(水) 12月17日(水) 12月24日(水)	親子の絆づくりプログラム “赤ちゃんが来た！” (ベビープログラム 愛称B P)	実10608467 報10703797	
4	家庭教育学級	実習	12月25日(木)	親子で楽しむ 大根掘り&ドライフラワーアレンジ(少年教室共催)	実10668613 報10704592	
5	子育て支援講座	講義	11月20日(木)	自己肯定感を育てる ～がまんする力をつける方法～(※)	実10589288 報10677970	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館			経費	—	
事業名	子育て・親子支援			講座区分	子育て支援講座		
講座名	自己肯定感を育てる～がまんする力をつける方法～						
ねらい	① 幼児期の特徴と接し方を学び、子育てや支援者としての活動に活かすための一助とする ② 保育者と保健推進員の交流を図る						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☐ その他 （ ）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	11月20日(木)		自己肯定感を育てる ～がまんする力をつける方法～			—	—
	10:00	11:30				幼児教育アドバイザー 今井 寿美枝	
	12	8					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	子育て中・子育てに関心のある方対象の講座とし、課題にこたえられた内容になったと考える
地域のニーズにこたえているか	○	アンケートの満足度が高かったため、地域のニーズに概ねこたえられていると考える
企画・事前準備は十分であったか	○	講師の方と講座内容や準備についての打ち合わせを行った
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートの満足度が高く、講座終了後個別に相談している様子も見られた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	保健推進員の方の出席が多かったため、地域に還元・波及できる機会があると考え
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	館報、ホームページ掲載、チラシ配布、他施設へのチラシ依頼等をしたが、申込みは少なかった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	赤ちゃんの成長過程やそれに伴う動きの様子を、講師の方が実践しながら解説してくださったり、体験談や例えを交えながらの講話で、イメージしやすくわかりやすかった。参加者の方々は講師の方の話に聞き入り、講座終了後個別に相談している様子もあり、関心の高さが窺えた。子育てをする上で今後に活かすことができる内容になったと考える。	
改善点	保健推進員の方に講座参加の依頼をするとともに、一般の方の募集も行ったが申込みは少なかった。例年子育て・親子支援事業の講座では申込者がなかったり少人数であるため、開催形態や周知方法の検討を引き続きしていきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	子育てに役立つ内容の講座を今後も検討していきたい。	

留意事項等	
-------	--



講座の様子



講座の様子

【事業一覧】

No	15	粕川公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	家庭教育学級	講義・実習	6月10日(火)	はぴまま子育て教室(※) 親子で楽しく運動あそび・子育て講話	実10480405 報10535851	
2	家庭教育学級	実習	7月 8日(火)	はぴまま子育て教室(※) 子育て支援センターの夏祭りに参加しよう！	実10516343 報10561190	
3	家庭教育学級	実習	8月 5日(火)	はぴまま子育て教室(※) 親子リトミック	実10540191 報10585256	
4	家庭教育学級	実習	8月26日(火)	夏休み親子料理教室	実10563459 報10602174	
5	家庭教育学級	講義	9月 9日(火)	はぴまま子育て教室(※) ほめて育てるコミュニケーション・ トレーニング(ほめトレ!)入門	実10568206 報10615702	
6	家庭教育学級	講義	11月11日(火)	はぴまま子育て教室(※) 歯と口の健康教室	実10615898 報10666904	
7	家庭教育学級	実習	12月 9日(火)	はぴまま子育て教室(※) 子育て支援センターのクリスマス会に 参加しよう！	実10657542 報10692157	
8	家庭教育学級	講義・実習	12月 3日(水) 12月10日(水) 12月17日(水) 12月24日(水)	親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム 愛称BP)	実10608467 報10703797	

【事業の概要】

No	15	粕川公民館	経費	—								
事業名	子育て・親子支援		講座区分	家庭教育学級								
講座名	はぴまま子育て教室											
ねらい	① 親子が共に学び、体験することで心豊かな親子関係をつくる ② 子育ての不安解消やリフレッシュの場とする ③ 同年齢の子を持つ母親同士が交流することで、地域の中で子育てなかまを増やす ④ 地区内で未就学児親子のための事業を実施している施設間が連携・協力することで、それぞれの参加者同士を繋げ、地域交流の輪を広げる											
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者					
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☒ その他（協力団体へチラシ配布、広報依頼）								
回	月 日		学習主題・内容	講師謝礼金額		実費負担金額						
	開始	終了		講師名								
	定員	参加者										
1	6月10日（火）		親子で楽しく運動あそび・子育て講話 協力団体 粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム （民生児童委員の子育てサロン）	—	—							
	10:00	11:45		今井 寿美枝								
	15組	4組8人										
2	7月8日（火）		子育て支援センターの夏祭りに参加しよう！ 協力団体 粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム （民生児童委員の子育てサロン）	—	—							
	10:30	11:30		粕川保育所職員								
	20組	20組41人										
3	8月5日（火）		親子リトミック（大胡・宮城・粕川3館合同） 協力団体 きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）	—	—							
	10:00	12:00		飯塚 一美								
	15組	9組22人										
4	9月9日（火）		ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング（ほめトレ！）入門 協力団体 粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム （民生児童委員の子育てサロン）	—	—							
	10:00	11:00		こども支援課職員								
	10組	2組4人										
5	11月11日（火）		歯と口の健康教室 -笑顔美人になれる！口元エクササイズ&乳幼児期のお口のはなし- 協力団体 粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム （民生児童委員の子育てサロン）	—	—							
	10:00	11:00		健康増進課職員								
	10組	5組10人										
6	12月9日（火）		子育て支援センターのクリスマス会に参加しよう！ 協力団体 粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム （民生児童委員の子育てサロン）	—	—							
	10:15	11:15		粕川保育所職員								
	20組	20組46人										

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	子育て中の保護者同士の交流や、地域子育てサロン等従事者との交流ができた
地域のニーズにこたえているか	○	親子で楽しめる講座や参加者同士の交流ができた
企画・事前準備は十分であったか	○	各回講師や連携施設との連絡調整ができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	良い学びにつながったというアンケート結果を多数受け、満足度が高かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	目に見える形には至っていないが、協力団体のメンバーの学びの場にもなっている
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館報掲載、チラシ配布、ポスター掲示、協力団体からの周知も行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価
◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価		※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	参加者集めに苦慮している。申込者が少ない上に、幼児は体調を崩しやすく当日欠席になることもしばしばあり、参加者の確保が課題である。参加者のアンケート結果からは「親子で楽しめた。とても勉強になった。早速実践したい。」など、満足度が高く有意義な内容だったことがうかがえる。地域の子育て支援施設と連携して事業を行っているので、その取り組みを活かし引き続き協力して実施していきたい。	
改善点	協力団体との連携を一層密にし、広報周知に努める。	

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	親子で一緒に楽しめ、子育てに役立つ内容を学べる機会と、子育て中の親同士が交流できる場を提供している。	

留意事項等	
-------	--

	
親子で楽しく運動あそび・子育て講話	夏祭りでお面作りをしている様子

【事業一覧】

No	16	富士見公民館	事業名	子育て・親子支援	
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	家庭教育学級	講義・ 実習	5月14日(水) 5月21日(水) 5月28日(水) 6月 4日(水)	親子の絆づくりプログラム , '赤ちゃんが来た！' (ベビープログラム通称BP)	実10357627 報10506729